

歯科医師臨床研修プログラム

佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニック
研修プログラム（単独型）

プログラムの特色

佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニックにおける12ヶ月間の臨床研修において、歯科外来診療を中心に地域における基本的・総合的な歯科診療能力の取得を目的とする。当院の特色として、有床歯科施設であることと、全身麻酔下における口腔外科症例を通して全身管理の基本と基本歯科診療から口腔外科症例までの治療への考え方を理解する。外傷を含めた歯科緊急処置を学ぶ。訪問診療を通し地域医療と医科・歯科連携と地域包括ケアを学ぶ。当院では一般歯科の他、臨床各科（小児歯科、口腔外科、歯科麻酔科、矯正歯科、摂食嚥下リハビリテーション、口腔内科などの認定医）による専門性に特化した診療を学ぶ。また、院内ラボにおける技工／訪問診療／病棟管理を通して、他の隣接した職種との連携の取り方を学ぶ。

1. 初期研修プログラム

- 1) 医療面接
- 2) 診療録記載/電子カルテ入力
- 3) リスクマネジメントとクライシスマネジメント
- 4) 全身管理の基本
- 5) 救急処置と救急薬品の基礎、BLS／Primary ABCD survey
- 6) 齲蝕、歯周疾患、歯髄根端性歯周疾患、歯質／歯の欠損への対応

2. 外来における総合診療研修プログラム

外来にて担当医制で診療を行うことで初診から終了までの一貫した歯科治療能力（一般診療）を身につける。

3. 専門研修プログラム

外来における口腔外科、全身麻酔手術症例における周術期管理及び手術への参加、口腔内科、小児歯科、矯正歯科、訪問診療における各専門研修プログラムを行う。

4. 学会の見学及び参加

5. 全身麻酔下手術介助

6. 研修歯科医ワークショップ

プログラムを通じてテーマを決定し、症例発表を行う。また、研修内容へのフィードバックを行い次年度の研修プログラムに反映させる。

臨床研修の目標

基本的・総合的な歯科診療能力を習得し、地域医療の実際と歯科口腔外科治療を学ぶことによって、質の高い歯科医師になるための生涯研修の動機付けを得る。

基本習熟コース（①医療面接、②総合診療計画、③予防・治療基本技術、④応急処

置、⑤高頻度治療、⑥医療管理・地域医療) および基本習得コース (①救急処置、②医療安全・感染予防、③経過評価管理、④予防・治療技術、⑤医療管理、⑥地域医療) の各到達目標について(1)診療の基本技能、(2)疾患別の基本治療技能、(3)歯科技工技能、(4)生涯研修歯科治療技能に分類し研修を行う。また、当院口腔外科外来、全身麻酔症例、口腔内科における有病者・高齢者及び周術期患者の全身管理を通して、歯科医療における全身状態の把握と全身管理の重要性、医科との連携を身につけ、地域でのプライマリケアから高次医療機関における治療の理解を深める。その他の研修内容として研修期間中の学会参加、全身麻酔下手術への参加をおこなう。

プログラム責任者の氏名

佐々木 研一 (ささき けんいち) (佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニック 理事長・院長)

臨床研修を行う分野、及び臨床研修施設

佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニックにて臨床研修を行う。

研修分野	研修を行う施設
1 基本習熟コース	
1-1 医療面接	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
1-2 総合診療計画	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
1-3 予防・治療基本技術	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
1-4 応急処置	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
1-5 高頻度治療	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
1-6 医療管理・地域医療	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
2 基本習得コース	
2-1 救急処置	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
2-2 医療安全・感染予防	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
2-3 経過評価管理	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
2-4 予防・治療技術	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
2-5 医療管理	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック

2-6 地域医療	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
3 その他	
学会参加	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック
全身麻酔下手術介助	佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック

佐々木歯科口腔顎顔面ケアクリニック研修プログラム（単独型）

研修期間は平成31年4月から平成32年3月までの1年間とする。1年間を通して佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニックでの研修を行う。（次年度以降も同様とする）
 当院での研修期間中は、一般診療の研修及び口腔外科、矯正歯科、小児歯科、口腔内科を含めた専門研修を行う。また、全身麻酔下手術症例の介助及び周術期全身管理を学ぶ。期間中に学会参加をする。

単独型臨床研修施設研修実施責任者：佐々木 研一（ささき けんいち）

単独型臨床研修施設研修指導歯科医：5名

研修医の指導体制

指導歯科医のもと、基本的な歯科診療知識、手技ならびに全身的な治療管理を習得する。口腔外科、歯科麻酔科、小児歯科、矯正歯科の専門医を含む14名の歯科医師および、看護師、歯科衛生士、歯科技工士等のコメディカルスタッフの協力を得て研修歯科医の指導体制を構築する。

研修歯科医の募集定員及び採用の方法

募集定員：6名

募集及び採用の方法：公募。面接及び筆記試験を行い、歯科医師臨床研修マッチングシステムを利用し採用決定する。

研修医の処遇

- (1) 常勤
- (2) 研修手当、勤務時間及び休暇に関する事項
 - 研修手当（給料） 210,000円（月額）

勤務時間 : 9時～18時(休憩1時間)

休日 : 日曜、祝祭日ほか希望休を1日/週とする(原則4週8休)

※ なお、休日とは別に年末年始、夏期休暇を含む休暇が計7日あり1年単位の変形労働時間制とする。

※ 0.5年経過の後に10日の有給休暇を与える。

(3) 時間外勤務及び当直に関する事項

時間外勤務 : 原則としてなし。

当直 : なし。

(4) 研修医のための宿舎及び病院内の研修医室の有無

宿舎 : 賃貸アパート

研修医室 : 1室

(5) 社会保険・労働保健に関する事項

歯科医師国保 厚生年金に加入

労働者災害補償保険に加入

雇用保険に加入

(6) 健康に関する事項

健康診断 : 年一回

B型肝炎ワクチン インフルエンザワクチンの接種

(7) 歯科医師賠償責任保険に関する事項

病院において加入 個人においては任意とするが加入することが望ましい。

(8) 外部の研修活動に関する事項

学会への参加を研修中に1回行う。参加する学会については単独型施設の指定するものとする。参加費等は単独型施設負担とする。

歯科医師臨床研修内容

1. 診療の基本技能
 - 1) 診療の態度技能
 - (1) 医療面接
 - (2) 安全性への配慮と危機管理
 - 2) 基本的診断技能
 - (1) 診査と検査技術
 - (2) 診断・治療計画の立案
 - (3) 局所麻酔
 - (4) 消毒・滅菌
 - (5) 指示書等の作成

2. 疾患別の基本治療技能
 - 1) 歯顎口腔の発達異常・加齢に伴う疾患
 - (1) 小児の歯科疾患
 - (2) 先天異常・発育不全
 - (3) 心身障害(児)者の歯科診療
 - (4) 高齢者の歯科診療
 - 2) 歯・歯髄・歯周組織の疾患
 - (1) 齲蝕
 - (2) 歯周疾患
 - (3) 歯髄疾患
 - (4) 根端性歯周疾患
 - 3) 咬合・咀嚼障害
 - (1) 歯質・歯の欠損
 - (2) 歯の欠損
 - (3) 咬合異常・障害
 - (4) 顎関節疾患

4) 顎・口腔領域の疾患

- (1) 損傷
- (2) 炎症・アレルギー疾患
- (3) 嚢胞・腫瘍及び類似疾患
- (4) 症候性疾患
- (5) 唾液腺疾患
- (6) 口腔領域の神経疾患・心因性疾患
- (7) 血液疾患・出血性素因

5) 歯科疾患の予防・管理

- (1) 口腔保健指導
 - (2) 口腔疾患の予防
 - (3) 地域口腔保健
- 6) 全身管理及び救急処置

3. 歯科技工技能

- 1) 歯冠修復物の製作
- 2) 欠損補綴物の製作
- 3) 治療装置の製作（スプリント、保護床等）

4. 生涯研修歯科治療技能

- 1) 専門医療
- 2) 医療管理・地域医療
- 3) かかりつけ歯科医機能の評価管理
- 4) 医療情報の収集

歯科臨床研修分野別到達目標

研修分野 一般目標及び行動目標

1：基本習熟コース

1-1 医療面接

【一般目標】

患者中心の歯科診療を実施するため、医療面接についての知識、態度及び技能を身につけ、実践する

【行動目標】

- 1 コミュニケーションスキルを実践する。
- 2 病歴（主訴、現病歴、既往歴及び家族歴）聴取を的確に行う。
- 3 病歴を正確に記録する。
- 4 患者の心理、社会的背景を配慮する。
- 5 患者・家族に必要な情報を十分に説明する。
- 6 患者の自己決定を尊重する（インフォームドコンセントの構築）。
- 7 患者のプライバシーを守る。
- 8 患者の心身におけるQOL(Quality Of Life)に配慮する。
- 9 患者教育と治療の動機付けを行う。

1-2 総合診療計画

【一般目標】

効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身につける。

【行動目標】

- 1 適切で十分な医療情報を収集する。
- 2 基本的な診察・検査を実施する。
- 3 基本的な診察・検査の所見を判断する。
- 4 得られた情報から診断する。

- 5 適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。
- 6 十分な説明による患者の自己決定を確認する。
- 7 一口腔単位の治療計画を立案する。

1-3 予防治療基本技術

【一般目標】

歯科疾患の機能障害の予防・治療・管理するために、必要な基本技術を身につける。

【行動目標】

- 1 基本的な予防法の手技を実施する。
- 2 基本的な治療法の手技を実施する。
- 3 医療記録を適切に作成する。
- 4 医療記録を適切に管理する。

1-4 応急処置

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処する為に、応急処置を要する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- 1 疼痛に対する基本的な治療を実践する。
- 2 歯、口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- 3 修復物、補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。

1-5 高頻度治療

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処する為に、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身につける。

【行動目標】

- 1 齲蝕の基本的な治療を実践する。
- 2 歯髄疾患の基本的な治療を実践する。

- 3 歯周疾患の基本的な治療を実践する。
- 4 抜歯の基本的な処置を実践する。
- 5 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。

1-6 医療管理・地域医療

【一般目標】

歯科医師の社会的役割を果たす為、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身につける。

【行動目標】

- 1 保険診療を実践する。
- 2 チーム医療を実践する。
- 3 地域医療に参画する。

2 基本習得コース

2-1 救急処置

【一般目標】

生涯にわたる研修を行う為に、より広範囲の歯科医療について知識、態度及び技能を習得する態度を養う。

【行動目標】

- 1 バイタルサインを観察し、異常を評価する。
- 2 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。
- 3 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。
- 4 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。
- 5 一時救命処置を実践する。
- 6 二次救命処置の対処法を説明する。

2-2 医療安全・感染予防

【一般目標】

円滑な歯科診療を実践する為に、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- 1 医療安全対策を説明する。

- 2 アクシデント及びヒヤリハットを説明する。
- 3 医療過誤について説明する。
- 4 院内感染対策（Standard Precautions を含む）を説明する。
- 5 院内感染対策を実践する。

2-3 経過評価管理

【一般目標】

自ら行った治療の経過を観察評価する為に、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- 1 リコールシステムの重要性を説明する
- 2 治療の結果を評価する。
- 3 予後を推測する。

2-4 予防・治療技術

【一般目標】

生涯研修の為に必要な専門知識や高度先進的技術を理解する。

【行動目標】

- 1 専門的な分野の情報を収集する。
- 2 専門的な分野の体験をする。
- 3 POS(Problem Oriented System)に基づいた医療を説明する。
- 4 EBM(Evidence Based Medicine)に基づいた医療を説明する。

2-5 医療管理

【一般目標】

適切な歯科診療を行う為に、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。

【行動目標】

- 1 歯科医療機関の経営管理を説明する。
- 2 常に必要に応じた医療情報の収集を行う。
- 3 適切な放射線管理を実践する。
- 4 医療廃棄物を適切に処理する。

2-6 地域医療

【一般目標】

歯科診療を適切に行う為に、地域医療についての知識、態度及び技能を習得する。

【行動目標】

- 1 地域歯科保健活動を説明する。
- 2 歯科訪問診療を説明する。
- 3 歯科訪問診療を体験する。
- 4 医療連携を説明する。

3 その他

3-1 学会参加

【一般／行動目標】

専門性に特化した学会に参加することにより、各分野の研究への知見を広げる。

3-2 全身麻酔および手術介助

【一般目標】

全身麻酔下での手術参加により、手術における流れと役割を理解する。

【行動目標】

- 1 手術室における清潔及び滅菌の概念を理解する。
- 2 ガウンテクニックを身につける。
- 3 全身麻酔手術の流れを説明する。

これらの到達目標に対し、以下の項目において目標症例数を示す。

基本習熟コース

(1) 医療面接 (6例／10例)

- ・ 医療面接 10例

(2) 総合治療計画 (22例/36例)

- ・ 歯周基本検査 10例
- ・ 口腔内記録/写真撮影/マルモ作成 3例
- ・ 口腔乾燥症の検査と診断 1例
- ・ 歯周病の治療計画立案/修正 5例
- ・ 補綴物設計 5例
- ・ 総合治療計画立案 10例
- ・ 基礎疾患への対応/診療情報提供書作成 1例 /診療情報連携共有に係る照会状作成 1例

(3) 予防・治療技術 (7例/12例)

- ・ スタンダードプリコーションの実施 3例
- ・ 外科手術時の手洗い、ガウンテクニック 5例
- ・ 唾液腺マッサージなど口腔内患者指導 1例
- ・ カルテ記載 3例

(4) 応急処置 (6例/10例)

- ・ 疼痛への対処 3例
- ・ 外傷患者への対処 1例
- ・ 脱離・破損症例への対処 : 修復/補綴物 2例 : 義歯破損 2例
- ・ 消炎手術 2例

(5) 高頻度治療 (37例/62例)

- ・ 齲蝕への対応
 - (1) CR 充填 10例
 - (2) インレー修復 3例
 - (3) 歯髄温存療法 1例 (努力目標)
- ・ 歯髄疾患への対応
 - (1) 抜髄 2例
 - (2) 感染根管処置 2例
 - (3) 根管充填 2例

- ・ 歯周治療
 - (1) 歯周精密検査 2例
 - (2) スケーリング 5例
 - (3) TBI 5例
 - (4) 結果の評価と治療計画の修正 5例

- ・ 抜歯
 - (1) 伝達麻酔 20例
 - (2) 抜歯 2例
 - (3) 残根抜歯 2例
 - (4) 智歯抜歯 (努力目標)

- ・ 咬合・咀嚼
 - (1) 歯台築造 3例
 - (2) FCM 2例
 - (3) CAD/CAM冠 1例
 - (4) 硬質レジン前装冠 1例
 - (5) 局部床義歯 2例
 - (6) 全部床義歯 1例
 - (7) 歯科技工 FMC／インレー／CAD/CAM 各1例

- (6) 医療管理・地域医療 (2例／4例)
- ・ 保険医療費請求事務の体験 2例
- ・ 学校検診への参加 2例

基本習得コース

- (1) 救急処置
 - ・ モニターを用いたバイタルサインの確認 3例 (全麻／局麻入院時及び口腔内科などで行います)
 - ・ BLS実習 1例

- ・ 救急時の初期対応（本人／家族への確認と現症の確認／他科への依頼の検討）1例（口頭試問）
- ・ 2次救命処置（講義）

（2） 医療安全・感染予防

- ・ 医療安全委員会への参加 9例
- ・ 医療事故防止委員会への参加 1例
- ・ 感染対策委員会への参加 1例

（3） 経過評価管理

- ・ 治療の予後の予測とリコールの計画を立てる 1例

（4） 予防・治療技術

- ・ 学会への参加 1回
- ・ 顎関節症の診断と治療 2例
- ・ 採血／血管確保 2例
- ・ マーゲンチューブ実習 1例
- ・ VE実習 1例
- ・ 嚥下訓練 1例
- ・ VF（努力目標）

（5） 医療管理

- ・ 放射線管理委員会への参加 1例

（6） 地域医療

- ・ 訪問歯科診療への参加 5例

基本習熟コースにおいては、

1：全症例において、最低1症例は経験し、別紙チェックシートによる評価を指導医より受けること。

2：（1）から（6）までの各項目における目標症例数の60%（小数点以下切り捨て）に達すること。

3：努力目標に関しては症例数から除外する。

基本習得コースに関しては、

1：実習及び講義に関しては履修を必須とする。

2：それ以外のものに関しては可能であれば可及的に履修することが望ましい。

3：努力目標に関しては症例数から除外する。

また、月1日の全身麻酔症例に関しては参加を必須とし、

1：全身麻酔の術中管理（実習・実技）

2：周術期の全身管理（実習・実技）

の習得を行う。

以上の到達をもってして、研修終了とする。